

年間授業計画（シラバス）

教科・科目	地理歴史科・世界史 A		単位数	3	単	履修学年	3	年
目標	<p>・近現代史を中心とする世界の歴史を、わが国の歴史と関連付けながら理解させる。 ・人類の課題を多角的に考察させることによって、歴史的思考力を培う。 ・国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。</p>							
使用教材	教科書「世界史 A」（実教出版）、演習ノート（実教出版）							
評価の観点・評価規準	（関心・意欲・態度）		（思考・判断）		（技能・表現）		（知識・理解）	
	各学習内容について、関心を持って取り組み、意欲的にわが国の歴史と関連づけているのか。また、指示されたように、授業中の作業や課題提出をしているか。		人類の課題を多角的に考察しているか。また、客観的な視点に立って歴史的な事実について公正な判断ができるか。		プリントによる作業を適切にしているか。また、問いかけや確認について、自身自身が考えた事や思った事を表現できるか。		学習内容について、理解しているか。また、学習内容についての知識が定着しているか。	
評価方法	<p>・プリント作業項目の完成度 ・プリントの提出度 ・定期考査での知識の定着度と記述問題の理解度 ・学習内容についての質問等からの関心度</p>							
学期	学習内容				学習のねらい			
1	<p>第1部 諸地域世界と交流圏 第1章 諸地域世界と文明 1. 東アジア世界と中国文化 2. 南アジア世界とインド文化 3. 乾燥世界とイスラーム 4. ヨーロッパ世界とキリスト教</p>				<p>・一年間の導入として、各諸地域世界について、その歴史の展開の中で培われた社会・文化の特質を理解する。 ・儒教・仏教・イスラーム・キリスト教などの宗教と人間の在り方・生き方との関連性を考える。</p>			
2	<p>第2部 一体化する世界 第4章 ヨーロッパ・アメリカの諸革命と世界の変動 1. 工業化社会の到来 2. アメリカの独立とヨーロッパの革命 3. 近代国民国家の形成と展開 4. アジア・アフリカ、ラテンアメリカの変動 5. 東アジアと日本の動向</p>				<p>・産業革命の結果、資本主義が確立したことを理解する。 ・アメリカ独立革命とフランス革命の過程とその影響を理解する。 ・ヨーロッパでの近代国民国家の形成と展開を各国別に考える。 ・植民地化によって具体的にどのような変貌が生じたかを理解する。 ・中国の清朝と日本の明治政府の動向を周辺国や列強との関係の中で考える。</p>			
3	<p>第3部 現代の世界と日本 第5章 現代世界のあゆみ 5 第二次世界大戦 第6章 第二次世界大戦後の世界 1. 冷たい戦争 2. 多極化と冷戦の終結 3. 現代の世界</p>				<p>・第二次世界大戦の経過や影響を理解するとともに平和の意義を考える。 ・冷戦の構造と第三世界の民族運動と植民地支配からの独立を理解する。 ・多極化と冷戦の終結の関連を考える。 ・現代世界の動向を理解する。</p>			
学習上の留意点	<p>時間は、過去から現在そして未来へと流れる。歴的事実を、時間の流れの中でとらえて、いかに多角的に考えることが出来るかを留意してください。</p>							